

風と心

岩手県立胆沢病院
広報委員会
〒023-0864
奥州市水沢区
字龍ヶ馬場61
TEL 0197-24-4121
FAX 0197-24-8194

日本環境感染学会に

参加

私たちの病院には院内感染予防に取り組む委員会があります。院内感染という時々ニュー

スなどに取り上げられ「〇〇感染〇人死亡」など大きく報道されたりしています。このようにこの病院にでも起こりうることです。このことが起きないように、胆沢病院では専門チームが、監視や危険を取り除くよう改善に取り組んでいます。二月二三、二四日横浜で行われた日本環境感染学会（日本中で行われている感染予防対策の最新の知識や技術を勉強する場）に医師・薬剤師・検査技師・看護

師の十二名が参加してきました。学びの中で、医療現場では感染対策を実践していますが、

調を崩されて来院される多くの患者さんが様々なバイキン（例：今の時期ならインフルエンザ少し前ならノロウイルスなど）を持ち込んでいたり、病院が見た目きれいであることで、目に見えないバイキンがいることに気が付かないということ。病院の

中のあるらこちらに手を消毒するための手洗い用アルコールが置かれていることにお気づきでしょうか？病気になる時は体を守るバリアが著しく弱くなっています。バイキンから自分の体や、自宅にいる家族を守るために、病院に来たとき、病院から帰るときは、ぜひ、近くにある手洗い用のアルコールで手を洗って帰るようお願いします。そして、咳が有るときは、ぜひマスクをしましょう！他



（写真）手洗い用アルコール

の人に移さないように、バイキンをもらわないように、お互いを気遣えるあたたかい病院であってほしいと願います。
院内感染対策チーム
千葉真理子

バイキンから自分を守る

「病院の評価」について、皆さんはどのようなことを基準に評価しているでしょうか。当院では、平成十四年三月に（財）日本医療機能評価機構の認定を受けていますが、去る一月二十九日から三十一日まで認定更新のための審査を受けましたので、その講評の概要をお知らせします。

第三者の目から 病院を「診断」

医療機能評価受審

【第一領域 病院組織の運営と地域における役割】
概ね良好と認められ、地域医療連携室の意欲的な取り組みが評価できる。なお、医療サービスの改善について、病院横断的な活動を行う組織を設置してはどうか。

【第二領域 患者の権利と安全確保の体制】
「患者の権利」、「職員の倫理」が明文化されており、医療安全管理や院内感染の予防対策が適切であり評価できる。ただし、医療安全の相談窓口設置などについて努力が必要である。

【第三領域 療養環境と患者サービス】
①担当医師等が明示され、施設の快適性が確保され適切と評価できるが、プライバシーについて、中央処置室の採血カウンターは隣同士が見えないような配慮が必要である。なお、管理者の定期的な院内巡視や年一回の待ち時間調査を実施してほしい。

【第四領域 医療提供の組織と運営】
①診療部門及び看護部門は、適切に運営され、診療の質を高める努力がされているが、病院に求められる機能に見合った医師の確保を期待する。
②その他の部門は概ね適切に運営されているが、放射線科は専門医一名では不十分と考えられる。また、救急部門における症例検討会の定期開催、診療録管理部門の組織的な位置づけ及び管理士の権限の明確化が必要である。

【第五領域 医療の質と安全のためのケアプロセス】
①病棟目標の設定、入院診療計画作成が適切であり、看護職員が質の高い看護を目指して努力している。また、輸血の実施、症状緩和の適応や安全なケアなど適切に行われている。なお、指示出し指示受けのシステム及び診療計画の説明記録などの改善を要する。
②診療録監査を行い、個々の医師にフィードバックされるシステムの構築が期待される。

【第六領域 病院運営管理の合理性】
事務管理部門は、地方公営企業法全部適用の病院として概ね良好に処理されているが、さらに病院のレベルを引き上げるよう細部に目配りすることが求められる。

総務課長 高橋 浩

勝又宇一郎、鈴木俊郎、松本登院長の三名が主に呼吸器疾患の診療に当たっております。全員が呼吸器学会専門医であり、病院自体も日本呼吸器学会認定施設になっています。

診療内容としては、肺癌、喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎、呼吸器感染症（結核を含む）、呼吸不全、在宅酸素療法、睡眠時無呼吸症の診断・治療など呼吸器全般を幅広く行っています。

近年医師不足が叫ばれておりますが呼吸器に関してはその傾向が著しく、当科の対象診療圏が非常に広くなりました。昨年度（平成十七年度）の当院死因統計によりますと肺癌による死亡が内科だけで四十一名あり、病院全体の死因の中のトップでした。というわけで医師の負担が倍増し、過酷な毎日

くすりの「効果」と「副作用」は裏表の関係にあり「両刃の剣」ともいわれ、残念ながら副作用のないくすりはありません。くすりはからだの中の必要なところで効果的に働くだけでなく、その他の色々などところにも影響を与えることがあります。病気に対して効果的に働く作

くすりの豆知識



では、診察や血液・尿の検査などで副作用がないか観察していますが、ご自分の身体の変

用を「主作用」、逆に目的以外の好ましくない作用を「副作用」と呼んでいます。病院

各科紹介 vol.1

呼吸器内科



(左から 松本院長、勝又医師、鈴木医師)

を送っております。応援をよろしく
お願い致します。
追記
肺癌死亡を減らす決め手は何と
言っても「禁煙」です！

勝又 宇一郎

化に注意し、「なにか変だな」と思ったら医師・薬剤師に相談して下さい。
副作用があるからとむやみに怖いと避けるのではなく、どういうときに副作用が出やすいのか、副作用を避けるにはどうしたら良いのかを理解して、くすりをうまく利用しましょう。



ドクターの
ワンポイントアドバイス

スギ花粉症の
薬物治療について

スギ花粉症治療の基本は薬物治療です。花粉飛散開始予想日の二週間位前から内服を開始すると症状のコントロールがしやすいと言われています。内服薬は抗ヒスタミン薬といわれるものが中心で、くしゃみ、鼻水、眼のかゆみなどに効果があります。症状が悪化した場合は他の抗ヒスタミン薬や別系統の抗アレルギー薬の追加を行います。さらに重症化した場合は短期間（一〜二週間）、ステロイドやステロイド・抗ヒスタミン合剤の内服を考えます。鼻づまりには点鼻薬を併用します。ステロイド点鼻薬は即効性で、副作用も少なく、長期間安全に使用できます。眼のかゆみ（結膜炎）には点眼薬（ステロイドまたは抗ヒスタミン薬）を併用します。

耳鼻咽喉科 中田 吉彦

「基本理念」

私たちは患者さん中心の医療を行い、地域の人々に信頼される病院づくりを進めます。

「基本方針」

- (1) 患者さんの1日も早い社会復帰を願い、患者さん本位の医療に努め、その安全と生命を守りプライバシーと権利を尊重します。
- (2) 地域の皆様の健康と生命を守るため、24時間救急診療体制をとり、救急医療の充実に努めます。
- (3) 医療機能の充実・医療情報の適切な提供とサービスの向上に努め、安心して治療を受けられる環境を整備します。
- (4) 職員は信頼し合い、能力と個性を發揮し、病院の発展と互いの向上に努めます。